

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第3章 医療の情報化の推進

第2節 看護職員

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部保健人材課

1 課題に対する平成25年度の実績

(1) 看護職員の養成確保	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 養成所の教務主任等を対象に研修を実施</li> <li>→ 実践能力を高める看護実習を行うため、実習の場で学生や病院の実習担当者へのアドバイス等を行う「看護実践教育アドバイザー」を派遣</li> <li>→ 県立以外の看護専門学校と実習施設との看護師養成教育・臨床交流システムの導入に向けた検討会を実施</li> <li>→ 看護師等養成施設の新築等に要する工事費及び設備整備に要する費用に対し支援</li> <li>→ 県立の養成施設の定員増のための改修工事</li> <li>→ 看護師等修学資金の貸付け</li> </ul>
(2) 定着対策の充実	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 臨床と基礎教育の連携システムの構築に取り組む養成所及び実習受入病院に対し、連携の仕組みの構築への支援</li> <li>→ 新人看護職員を対象とした研修を実施</li> <li>→ 院内保育施設の運営費に対する助成</li> </ul>
(3) 再就業の促進	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 看護師等の県ナースセンターへの登録制度を開始</li> <li>→ ナースセンターにおいて就労促進、無料職業紹介等を実施</li> <li>→ 潜在看護師等の再就業を促すための説明会、研修等の実施</li> <li>→ 潜在看護職員掘り起こしのための普及啓発の実施</li> </ul>

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県		出典等
				H24年度	H25年度	

### 3 課題ごとの進捗状況の評価

#### (1) 看護職員の養成確保

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養成所の教務主任研修には 302 名が受講し、実践力の高い看護職員を育成する教務能力向上を図った。</li> <li>・看護教育の経験が豊富な看護実践教育アドバイザーを実習受入病院へ派遣し、実習指導の質の向上を図った。</li> <li>・県立以外の看護専門学校と実習施設との看護師養成教育・臨床交流システムの導入に向けて検討会を 4 回開催し、ガイドラインを作成した。</li> <li>・看護専門学校に対し、施設・設備整備の支援を 3 校に行い、計 190 名（1 学年定員）の養成数拡充に寄与した。</li> <li>・経済的に困窮する学生を対象とした特例貸付修学資金を新設し、併せて 2 年課程の学生への貸付人数を増やし看護師等の確保・県内定着を図った。</li> </ul>
評価理由	平成 25 年度から平成 26 年度にかけ、400 名を超える養成増となるなど、課題解決に向けて順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	医療や社会の変化に対応して、自律的に実践能力を発展させていける看護人材の養成・確保について、引き続き推進していく。

#### (2) 定着対策の充実

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立以外の看護専門学校と実習施設との看護師養成教育・臨床交流システムの導入に向けて検討会を 4 回開催し、ガイドラインを作成した。（再掲）</li> <li>・新人看護職員が基本的な臨床実践能力を獲得するための新人看護職員職場内研修（121 施設）及び規模の小さい病院等の新人看護職員研修を受け入れた病院（14 施設）に対して補助を行い、看護の質の向上及び早期離職防止を図った。</li> <li>・離職率の高い 2～5 年目の若手看護職員への離職防止研修を実施した。</li> <li>・院内保育所の運営について、110 施設の病院に対して補助を行い、看護職員が子育てをしながら働き続けることのできる環境へ支援を行った。</li> </ul>
評価理由	新人から 5 年目の看護職員への離職防止研修や、定着促進に向けた院内保育補助を実施するなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も看護人材の育成に向けて、引き続き研修を行っていく。</li> <li>・看護職員の離職防止に取り組んでいく。</li> </ul>

### (3) 再就業の促進

評価	A ・ <b>B</b> ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 潜在看護職員の掘り起こしのため、ポスター掲示やリーフレット配布等の普及啓発活動を行うとともに、離職する看護師等が潜在化しないよう、離職時に県ナースセンターへの登録を促進し、離職看護師等へ再就業に関する情報等を提供する事業を開始した。</li> <li>・ 看護の職場見学会（2回開催）や地域共同就業相談会（2回開催）を実施し、再就職支援につなげている。</li> </ul>
評価理由	再就業の促進に向けた様々な取組みをすすめることにより、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	潜在看護職員の掘り起こしのための普及啓発活動及び離職する看護師等が潜在化しないような取組みを着実に進めていく。また、離職看護師等に対する再就業に向けた相談会等を実施し、再就職支援を実施していく。

### 4 総合評価

評価	評価理由
<b>B</b>	看護職員の確保・定着については、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

### 5 特記事項

--